

札幌・日弘ヒーディング

メガソーラー完成

6日売電開始 来春にも新設

伊達

暖房設備設置業の日弘ヒーディング（札幌、高橋伸英社長）が、伊達市若生町の国道37号沿いで建設していた、大規模太陽光発電所（メガソーラー）が完成し

2日、同所で竣工式を開いた。6日に売電を開始し、全量を北海道電力に販売する。高橋社長はあいさつで、発電所の南側に来春、今回と同規模の発電所を建設する考えを表明した。竣工式には、菊谷秀吉市

太陽光パネルを前にテープカットする日弘ヒーディングの高橋社長（左端）ら



長ら関係者約50人が出席。神事に続いてテープカットした。高橋社長は、地元関係者の協力に感謝し「発電

は最低20年間は続けていく。愛される運営をしていきたい」と述べた。その上で、今回完成した発電所の

南側に来年4月、同規模の出力性能を持つ発電所を新たに建設する考えを示した。同社ソーラー事業部の高橋弘典課長は「2カ所目の発電所建設をはじめ、メンテナンス作業はなるべく地域の事業所にお願いで地域貢献を図りたい」と述べた。

菊谷市長は「伊達市は日照時間が長く今年も年2千時間を超える勢い。自然エネルギーが盛んになってほしい」と期待した。発電所の名称は、伊達若生太陽光発電所。約3・3畝の敷地に、縦約1・3畝、横約3畝の太陽光パネルを6990枚設置した。出力は1100kw。年間発電量は一般家庭の約380世帯分に相当する約138万kwhで、売電収入は年間約5千万円を見込む。今年4月下旬に着工し、9月下旬に竣工した。メガソーラーは同社として登別市に続き2カ所目。

伊達市内では、北電伊達ソーラー発電所（出力1千kw）と、大林組系の大林グリーンエナジー（東京）の伊達太陽光発電所（同1600kw）がすでに稼働している。このほか、IHI系のIHIプラント建設（東京）が、若生町の所有地に、出力1190kwのメガソーラーの建設を予定している。（野村英史）

西胆振 伊達

西部支社 伊達市元町71-3 TEL 0142(23)2103 FAX 0142(23)5848 ホームページ http://www.muromin.mnw.jp Eメール seibu@muromin.mnw.jp 掲載地域 伊達市/豊浦町/壮瞥町 洞爺湖町 洞爺湖温泉 ニュース、生活情報、ご購読、広告の申し込みは上記の電話、メールへお知らせください

メガソーラー工事完了

伊達・日弘ヒ社 6日から売電

【伊達】暖房設備設置業

「日弘ヒーディング」（札幌市）は2日、市内若生町の国道沿いに建設した大規模太陽光発電所（メガソーラー）で竣工式を開いた。6日から北海道電力に売電



メガソーラーの前でテープカットをする菊谷秀吉市長（右から4人目）と高橋社長（同5人目）

を始める。

約3・3畝の民有地に太陽光パネル6690枚を設置した。出力は1100瓩で、年間発電量は約138万瓩時（一般家庭約380世帯分）。竣工式では同社の高橋伸英社長が「南側隣

接地に同規模のメガソーラー建設を検討している」と明らかにした。同社によると来年4月の着工を目指すという。

市内では特定規模電気事業者（新電力）の「Kエナジー」（東京）が、上長和と南黄金にある民有地に出力各600瓩の太陽光発電所設置を計画。重機大手「HII」（東京）の子会社は弄月町の自社所有地に出力

1190瓩のメガソーラー建設を予定する。ただ両社とも北電と送電線への接続契約などが進んでおらず、着工の見通しは立っていない。（文基祐）

北電再値上げに反対
市民団体が署名提出
室蘭の市民グループ「電力料金再値上げの撤回を求める市民の会」は2日、北電室蘭支店（大前雅嗣支店長）に、再値上げ撤回を求め、655筆の署名を提出した。同会は8月に市内で開かれた北電による説明会への出席者で結成、9月から署名を集めた。同会の富盛保枝世話人は「私たちの声に耳を傾け方針撤回を」と訴えた。